

# Next One! となみ市議会より だより

～令和7年12月定例会～

2026  
1.26  
No. 43

## Contents

- P2 特集
- P4 代表・一般質問
- P9 委員会報告
- P11 賛否公開



特集

高校生が将来住みたいまちとは？



## 特集

# 議会傍聴とグループワーク 高校生が将来住みたいまちとは? ～まちづくりの種まき～

砺波市議会では令和2年12月定例会から、主権者教育（※）の一環として市内2つの高校生徒会メンバーを中心に本会議傍聴及び議員との意見交換の場を設けています。

今回は、12月8日(月)に砺波高等学校・砺波工業高等学校の生徒会から11名（市内在住4名、市外在住7名）が本会議を傍聴後、今回初めてとなる議員とのグループワークに取り組みました。

グループごとに「砺波市で若者が住みたい・働きたいと思えるために」、「高校生が地域と関わるにはどんなことができるか」を取り上げ、それぞれ出た意見を発表してもらいました。

次世代の政治参加を促し、若者ならではの感性や生活実感を施策として提案できるよう、議会として努めています。



## グループワークを通して出た砺波市への意見（抜粋）

### <良いこと>

- ・治安が良い
- ・その地域特有の良さ（夜高など）
- ・高い建物が少ない
- ・イオンモールがある
- ・温かい人情がある

### <不満・懸念すること>

- ・娯楽施設が少ない
- ・働きたい場所がない
- ・卒業後に半数が富山県を離れる
- ・大学で外に出たら戻らないのでは
- ・親に都会に行くことを勧められる

### <求めていること>

- ・子育て支援
- ・充実した公共サービス
- ・交通の便



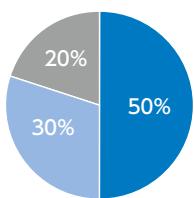
### ※主権者教育とは

平成27年に選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことを受け、単に政治の仕組みを学ぶだけでなく、他者と協働しながら、地域や社会の課題解決を自ら考えて行動する力を育てることを目的とした教育。

## 参加した高校生のアンケートから

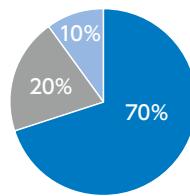
(N = 10人)

### Q 1 本会議の一般質問を傍聴して、「議会」のイメージが変化しましたか



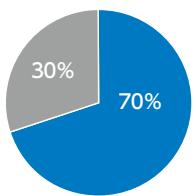
- やや変わった
- あまり変わらなかった
- 大きく変わった
- ・全く変わらなかった (回答なし)

### Q 2 選挙や行政との関わりによって「自分たちの意見が政治に反映される」可能性があると実感できますか



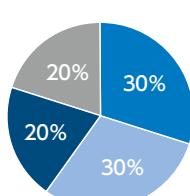
- 少し実感している
- 実感している
- あまり実感していない
- ・全く実感できていない (回答なし)

### Q 3 今日の見学をきっかけに、選挙への関心は高まりましたか



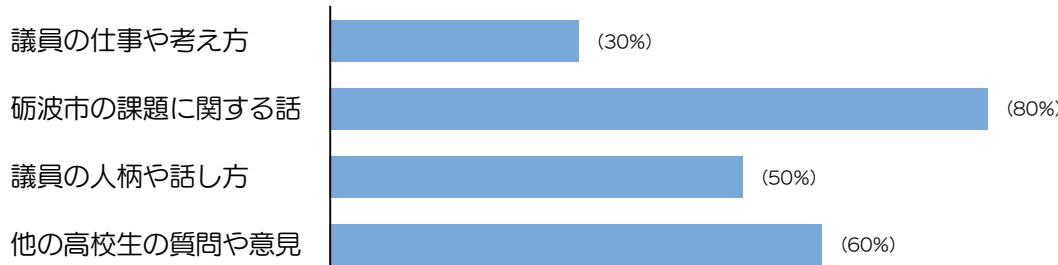
- やや高まった
- 大きいに高まった
- ・あまり高まらなかった
- ・全く高まらなかった } (回答なし)

### Q 4 次の選挙で投票に行くとしたら、どのような方法で情報を取得したいですか



- 新聞やテレビの報道を見る
- 選挙管理委員会からの情報を確認する (ホームページ、SNSなど)
- 選挙公報 (選挙前に配られる文書)
- 友人や家族と話して情報を得る
- ・候補者や政党の公式ホームページを見る
- ・候補者本人のSNSを見る
- ・街頭演説や個人演説会に足を運ぶ } (回答なし)

### Q 5 グループワークで最も印象に残ったことは何ですか (複数回答可)



都会と比べた時に、砺波独自のインパクトや砺波市に良い点があると、Uターンしやすい市になると思いました。

**自由記載の中では…**

自分たちの生活をよりよくできる方法はまだまだあるが、それを実現するための資金や、労力をどのように割くかを考えしていく必要があると感じました。



市議会議員の考えを直接伺う機会は今までになかったので、新鮮でした。

従来型の、高校生が「聞く会」から今回は「ともに考える場」への転換を目指し、「グループワークでの意見交換会」形式で開催しました。高校生が主体的に考え、地域を“自分ごと化、するきっかけになればとの思いを込めての試みでした。高校生の皆さんありがとうございました。  
(原田 定範議員)

私が高校生の時のことを振り返りながら携わさせていただきました。よく考えていると感心しつつ、このような機会に市政に関心を深め、将来の地域の力となっていただきたいと思います。  
(米山 勝規議員)

QRコードから、定例会の一般質問の録画映像を見ることができます。



## 代表質問

こんどう ひさゆき  
今藤 久之議員



### 令和8年度砺波市予算編成について



新内閣発足による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の拡充が、財政運営や地域への投資にどのような影響を与えると見込まれているのでしょうか。



この交付金については、物価高騰の影響を受ける市民や地域経済を支援するため、地域の実情に応じた柔軟かつきめ細かな対策に取り組むため、交付されるものです。配分額は臨時国会で審議中であり詳細は明確ではありませんが、これまでに交付された金額を3倍程度上回ることが予想されており、家計の負担軽減や地域経済の活性化、本市の財政運営にも十分に効果が期待できるものと考えています。

この交付金を最大限に有効活用するため、優先的に求められている支援対象や内容、その費用対効果などを考慮するとともに、多岐にわたる支援メニューを検討した上で、戦略的に実施したいと考えています。速やかに実施できる事業などについて、本定例会での追加補正予算案<sup>(※)</sup>の提出に向け、調整しているところです。

※追加補正予算にて可決されました。

### 新庁舎について



新庁舎は将来にわたる新しい働き方を見据えながら、執務スペースの配置や窓口のワンストップ化、ICT環境の整備など、時代に応じた設計と運用が必要です。庁舎設計にどう反映していくのでしょうか。



本市の人口は、平成25年をピークに総人口や生産年齢人口が減少し、高齢化が進行してきており、税収入の減少や社会保障費の増加など、将来的な行政サービスに影響が出ることが考えられます。ICTによる効率化を図ることで、市民の利便性の向上とともに、職員の負担軽減も図りたいと考えています。

新庁舎の設計にあたっては、維持管理コストやエネルギー効率なども踏まえ、基本理念である「市民の安全を守り、環境と人にやさしく、機能的でコンパクトな庁舎」を目指し、設計したいと考えています。行政改革や窓口改革は、現庁舎においても可能な改革ができるものから進めていきます。



# 12月定例会

## ● 一般質問

12月8日・9日の両日、13人の議員が市政に対する代表・一般質問を行いました。



### 代表・一般質問とは

議員が市のあらゆる施策について問い合わせだし、自由な意見を述べ、市の公式の見解を求める機会です。代表質問は、会派を代表して質問を行います。

※12月定例会での代表・一般質問の録画映像を、インターネット配信しています。議員氏名の下の各QRコードからも、質問の映像を見ることができます。

砺波市議会

検索

# 12月定例会 一般質問



## 次期砺波市総合計画の策定準備について

Q

次期砺波市総合計画策定に向けて、令和7年度は市民アンケートなど、準備をどこまで進め、令和8年度にはどのように対応していくのか見解を伺います。

A

市民アンケートを令和7年12月下旬から令和8年1月(予定)にかけて実施し、調査項目は、前回との比較をしやすいよう、前回と同様を基本とします。調査対象者は市民から1,300人を無作為抽出し、抽出者以外の方にも、市広報や市ホームページ等からネット回答ができるようにします。令和7年度内には、アンケート結果を取りまとめ、第2次砺波市総合計画の進捗管理をしながら、次期総合計画の基本構想の体系等を固めます。令和8年度には基本構想と基本計画の策定を目指します。また、企業や様々な団体と意見交換などを行い、多くの皆さんのお意見もお聞きして進めていきます。

### 質問の趣旨

令和8年度は第2次砺波市総合計画の最終年度であり、令和7年度は次期砺波市総合計画への橋渡しとなる重要な年度であることから、この期間における市民からの意見聴取の手法等について質問しました。



## 40代からの骨粗しょう症検診の導入に向けて

Q

骨粗しょう症による大腿骨や脊椎の脆弱性骨折を防ぐためには、40代からの節目検診に骨粗しょう症検診を導入する必要があるのではないか。どうでしょうか。



脊椎の脆弱性骨折  
(イメージ)

A

本市では、健康増進法に基づき平成14年度から22年度まで骨粗しょう症検診を実施していましたが、現在は実施していません。

しかし令和5年国民健康・栄養調査では20~30歳代女性の「やせ」が20.2%と、この傾向は10年間改善していません。国の「健康日本21」でも割合の減少が目標とされています。やせの割合が高いと想定される40歳代では骨粗しょう症などの影響が現れる可能性があるとの認識に立ち、節目検診への再導入の必要性について今後検討していきます。

### 質問の趣旨

骨粗しょう症は40代頃から進行し、気づかないうちに骨折リスクが高まり、将来的に寝たきりや要介護につながる可能性があります。早期発見は健康寿命の延伸や介護予防にも直結することから、誰もが受けやすい検診体制にする必要があると考え、質問しました。



## 中学校再編を好機と捉えた戦略的ビジョンについて

Q

児童生徒のアイデアが「まちづくり」に直結するような、実践的な探究学習を戦略的に導入してはいかがでしょうか。

Q

閉校施設は未来に資する「戦略的資産」です。第3次砺波市総合計画や砺波市都市計画マスターplanと連動し、未来を見据えた「まちの再構築」のために「まちづくりの指針(ビジョン)」を策定すべきと考えますが、いかがでしょうか。

A

現在も地域の特色を生かした「ふるさと教育」を実施しており、内容は充実していると認識しています。今後も現在の活動を継続し、地域に根ざした学習の実施に努めます。

A

砺波市都市計画マスターplanの基本的なエリア設定などの変更や新たな指針の策定は現段階では必要ないと考えており、まずは子どもたちにとって最適な教育環境の整備を優先すべきと考えます。

### 質問の趣旨

中学校再編は単なる規模適正化ではなく、合併20年を経た「眞の一体感」と「まちの再構築」を実現する絶好の機会です。跡地利用にあたっては、砺波市都市計画マスターplan(地域別構想)に即した「まちづくりの指針(ビジョン)」を策定し、将来を見据えて検討すべきと考え、質問しました。

住み良い  
地域を  
守る!!

よねやま まさき  
**米山 勝規**議員

## 空き家・空き地の管理に対する働きかけ

**Q** 雜草除去等の環境衛生上の問題に対し、市がよりスマートに措置を行えるよう、条例の改正や実効性の高い新たなルールの制定を検討すべきではないでしょうか。



**A** 空き家特措法の改正により、「管理不全空き家」の所有者に対する行政指導や固定資産税の軽減措置の解除などが、市町村の条例で規定できることになりました。この制度は所有者・管理者に対し大きな強制力を持つため、運用には詳細な制度設計が必要ですが、空き家の増加が想定されることから、できるだけ速やかに条例の改正に向けて対応します。

### 質問の趣旨

「管理されていない」空き家や空き地がこれから増えてくることを想定して、先手の対策が必要と考え、質問しました。

中学校再編  
までの校舎の  
維持管理

こうしま としあき  
**神島 利明**議員

## 安全かつ安心して学校生活を送られる環境整備について

**Q** 庄川中学校体育館の雨漏りのように、長期間にわたり十分な対応がされないことのないよう、再編対象中学校における校舎の維持管理の在り方について伺います。



庄川中学校体育館

**A** 学校施設の老朽化などに伴う修繕は、緊急的または安全性の確保が必要な箇所を優先して、順次整備してきており、今後も生徒の教育環境に配慮しつつ、適切な施設管理を実施します。

庄川中学校の体育館については、老朽化による雨漏りの箇所が見受けられることから、現在、修繕工事の手続きを進めているところであります。今年度中に完了する予定です。

### 質問の趣旨

再編対象校であっても、在籍する生徒の安全と学習環境を最優先に考えることが重要と考え質問しました。

下水道未整備  
地区の解消  
促進

はら だ さだのり  
**原田 定範**議員

## 砺波市下水道計画について

**Q** 令和2年度に、下水道整備計画が見直され、順次事業を進められてきました。令和10年竣工予定の新警察署管渠工事計画上にある鷹栖地区内では、整備の順番が変更となりました。今後の事業展開について伺います。

**A** 令和9年度までは、新警察署への管渠整備を優先して実施しているほか、並行して他の未整備地区の整備を行っているところです。新警察署への整備が終われば、残りの未整備地区を順次進めることにしています。なお財源確保などの課題については、引き続き国の社会資本整備総合交付金や、有利な交付税措置が受けられる企業債を活用して整備を行い、国の制度改革等の状況を注視しながら財源確保に努めます。

### 質問の趣旨

人口減少・空き家の増加、物価高が続く厳しい環境下でさらに新警察署建設構想が加わりました。下水道未整備地区の解消に向けて効率的な整備計画と財源確保などの課題について質問しました。

# 12月定例会 一般質問



さかい さ よ こ  
境 佐余子議員



## 第3次砺波市総合計画の方向性について

Q

国の制度改正や人口減少、そして財政環境の変化が続きますが、次の砺波市総合計画の「基本となる考え方」をどう整理されますか。

A

現在実施している各種施策の検証・整理を行った後、市民アンケートや砺波市総合計画審議会などから市民の皆様の意見を伺い、それらを反映させたいと考えます。また、全般的に今後の社会情勢の動向や、国や県などの新たな施策について情報収集に努め、次期計画の各種施策に反映させることを考えています。

Q

二地域居住・関係人口・重層的支援を『地域力の再編』として位置づけられませんか。

A

地域力の維持や強化は、本市のまちづくりにとって主要な施策の一つです。質問にあった各種事業は、市民生活を支える取り組みとして、次期砺波市総合計画に位置づけるものと考えています。また、市民の皆さんのご意見も伺ながら考えています。

### 質問の趣旨

来年度策定の「第3次砺波市総合計画」について、市としての基本的な考え方と、これから砺波が目指す方向を伺いました。

## 災害時における避難所の機能や運営体制の在り方について

Q

災害時のペット同行避難は、避難行動に直結する重要な課題であり、平時からの周知と準備が不可欠です。本市では高水準の避難所運営マニュアルを整備している一方、市民の認知は十分とは言えません。

国においてガイドライン改定が進む中、本市として「人とペットの災害対策ガイドライン」の周知啓発を今後どのように強化していくのかを伺います。



A

令和6年能登半島地震の被災状況を踏まえ、災害時におけるペットの同行避難への対応は重要な課題の一つであると認識しています。本市では、「防災となみ」への掲載や狂犬病予防接種案内はがきへのQRコード掲載などにより周知を進めてきました。

今後も、飼い主による日頃の備えの重要性を踏まえ、広報による啓発を継続するとともに、関係機関と連携し、自主防災訓練でのペット同行避難訓練を各自主防災会に促していきます。

### 質問の趣旨

ペットは単なる動物ではなく、大切な家族の一員です。ペット同行避難の周知強化が必要だと思い質問しました。

## 防災井戸の整備について

Q

砺波平野は、庄川が形成した扇状地であり、この地層構造が地下水を涵養し、良質な水が豊富に蓄えられています。

今後、国や県の補助金等をどのように活用し、災害時に水の需要が最も高まる想定される指定避難所に災害用井戸を整備していくかについて伺います。

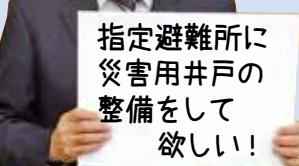
A

令和6年能登半島地震における水道施設の甚大な被災や、断水の長期化等による生活用水の確保に対する課題を踏まえて、国において「災害時地下水利用ガイドライン」が公表されました。これを踏まえ、本市では既設井戸を活用した災害用井戸を整備しました。

今後は、当面、現行の県防災井戸整備費補助金を活用しながら、まずは主要避難所に近接する市所管の既設井戸を計画的に改修整備するとともに、引き続き、国等の動向に注視し、有利な事業があれば積極的に活用を図り、災害用井戸等を整備したいと考えています。

### 質問の趣旨

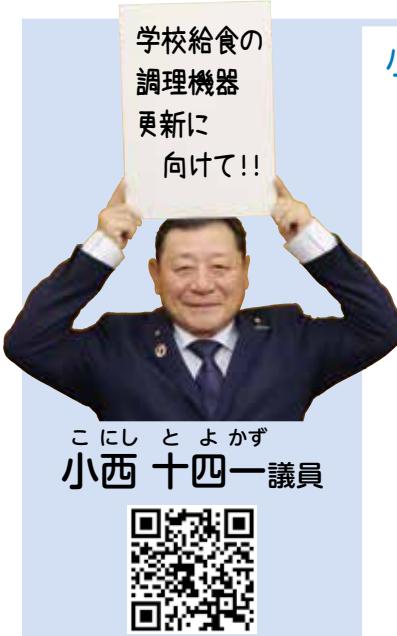
砺波市は、その豊かな自然環境と地理的特性から、豊富な地下水資源があり、地下水を活用できる災害用井戸の整備は、非常に理にかなった推進策であるため質問しました。



むか い みき お  
向井 幹雄議員



QRコードから、定例会の一般質問の録画映像を見ることができます。



学校給食の  
調理機器  
更新に  
向けて!!

こにしどよかず  
**小西 十四一議員**



## 小学校の給食費無償化に合わせた対応と給食調理機器の更新について



Q 国の小学校給食費の無償化施策について、本市における対応について伺います。また給食調理機器更新の予算獲得に向けて、準備をする必要があると考えますが、市の見解を伺います。

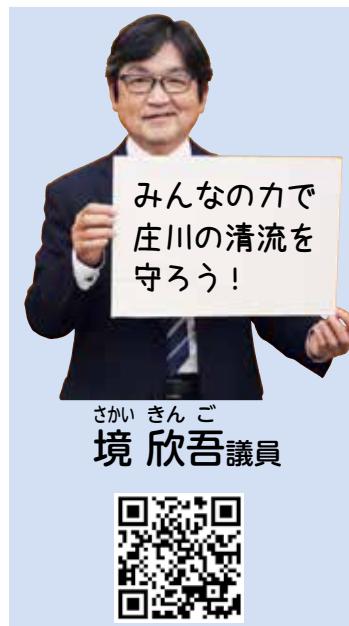


A 小学校の給食費の無償化については、国の『強い経済』を実現する総合経済対策に盛り込まれているものの、詳細な事項については、未だ公表されていない状況です。今後、国の制度設計が明確に示されましたら、速やかに予算措置し、必要な事項については国や県に対して要望したいと考えています。

また、給食施設設備については、国の補助要件が、給食未実施校を優先的に支援することから、本市では該当しないものと考えています。

なお、今回の措置とは別に、老朽化による修繕箇所については、必要に応じ適宜適切に対応します。

**質問の趣旨** 調理機器が古く苦慮していると伺いました。万が一機器が故障して給食停止になれば、保護者による弁当作りの手間という形で市民生活に影響があると考えました。そこで、国の給食費無償化の動きに合わせた設備更新予算の確保について質問しました。



みんなの力で  
庄川の清流を  
守ろう!

さかい きんご  
**境 欣吾議員**



## 岐阜県高山市六厩地区の産廃施設建設計画について



Q 全国では知事が建設を許可した産廃処分場に係る事故が相次いでいます。PFAS<sup>\*</sup>の流出が全国各地で報告され、発がん性物質の生成で35万戸が断水・減水を強いられた例もあります。水源地に産廃処分場を作つてはいけないと、飛越7漁協の皆さんや、庄川流域六厩産廃処分場計画対策協議会の皆さん、さらに市民団体の皆さんが反対運動を展開され、高山市長も「計画を止めさせるために何でもやる」と立場を明確にされました。市長の見解を伺います。



A この計画が法律や条例等の基準をすべてクリアしたとしても、高山市長が反対の意思表示をされ、様々な団体の反対運動が行われている中で、住民の理解や納得が得られないまま、岐阜県がどう対応されるか注視していく考えです。高山市長から反対活動への協力要請などがあれば、関係自治体間で協議していくことになると考えています。

<sup>\*</sup> PFAS(ピーファス)…有機フッ素化合物。水や油をはじくので、フライパン・泡消火剤など多様に使われてきた。分解しにくく体内に蓄積するため、発がん性・免疫機能低下など健康への影響が懸念されている。

**質問の趣旨**

岐阜県知事の判断が近づく中、改めて建設反対の意思表示を求め、市長の見解を訊きました。



学校が  
変わる!!

やまもと あつし  
**山本 篤史議員**



## 子どもの学習環境づくりについて



Q 市内小学校で「1時間40分授業」が試行されました。授業時間の短縮は教員の事務時間確保や、児童の下校時間繰り上げによる放課後の充実など、多様な効果が期待できます。2学期の試行期間を経て、児童の学習状況や生活面で見えてきた成果と課題をどう把握し、来年度以降の導入方針についてどう考えているのか伺います。



A 市内4校での40分授業試行は、児童の集中力維持に加え、放課後の時間を活用した「心の天気」の再実施により、いじめや不登校の兆候を早期に把握できる等の成果が確認できました。教職員の負担軽減や職場環境の改善にも繋がり、授業改善が進んだからこそ可能な取り組みです。児童の疲労等の課題は少しづつ順応していくと判断し、令和8年度から全小学校で実施予定です。

<sup>\*</sup> 心の天気…一人に一台貸与されているタブレット端末を活用し、自分のそのときの心の状態を「晴れ」や「雨」など天気に見立てて入力するアプリ。

**質問の趣旨**

下校前に振り返りの時間を設けることで、我が子の悩みごとが解決に繋がったことがあり、今の時代に即した画期的な取り組みであり、今後の方針を質問しました。

# 委員会報告 主な審議結果

文教民生病院常任委員会 12月10日

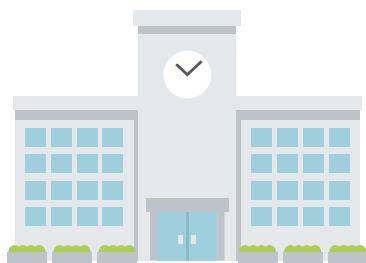
議案第60号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第4号)

**新設中学校整備基本計画策定等事業費 22,583千円**

原案  
可決

## 提案理由

令和15年4月に開校を目指す新設中学校の整備基本計画策定と、それに伴う事業費を計上



## 審議内容は？

「新中学校整備基本計画」の策定の内容については、①建設候補地の整理 ②学校の配置計画 ③概算事業費の検討 ④工期等の検討 であり、民間事業者の技術や資金を活用する手法であるPFIなどの導入可能性調査を実施することを確認しました。

また、年度内にプロポーザルを実施して、業者を選定するなど、今後のスケジュールについて質疑しました。

議案第65号 令和7年度砺波市病院事業会計補正予算(第2号)

**病院経営改善推進事業債 1,300,000千円**

原案  
可決

## 提案理由

当年度の病院の資金繰りが厳しいことから、病院経営改善推進事業債を発行

## 審議内容は？

病院事業債の発行要件として、新たに「経営改善実行計画」を最大5か年分策定し、収支改善に取り組むことが求められています。病棟再編による改善、職員の適正配置、夜間看護補助者の派遣委託化など、トータルで収支改善を確実に達成し、病院経営の健全化と持続可能な医療提供体制維持に努めることを確認しました。



10/14~16

## 大阪府豊中市・兵庫県洲本市・徳島県吉野川市・ 上勝町へ行政視察

豊中市社会福祉協議会の立ち上げた都市型共同農園「豊中あぐり」は、定年後の男性の居場所づくりとして運営されています。農業を通じて介護予防や社会参加を促進する場を提供しています。

徳島県上勝町の取り組み「ゼロ・ウェイスト」では、企業と連携し、使用済みの紙おむつをリサイクルをするシステムの実証実験を始めるそうで、炭素を多く含む半炭化物に加工し、体積を圧縮することで回収の負担軽減を目指します。

いずれの視察先も、地域課題や文化財・地域資源を活かし地域創生に取り組んでいました。



豊中あぐり

議案第60号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第4号)所管部分

### 農村地域防災減災事業委託料 1,000千円



#### 提案理由

支持地盤までのボーリング調査について、今回は想定以上に深くなつたことによる予算の補正

#### 審議内容は?

ため池は中山間地域農業にとって最重要案件であり、令和12年度までに残りの未調査箇所13か所について防災重点ため池の耐震等調査を終えたいと考えているとのこと。国に対しても整備の予算措置が図られるよう働きかけ、中山間地域において安心して農業が継続できる環境を整備するよう求めました。

原案  
可決

議案第82号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第5号)所管部分

### プレミアム付商品券発行事業費及び配付事業費 302,000千円

#### 提案理由

物価高騰対策である国からの補正予算(重点支援地方創生臨時交付金)を活用し、緊急対策として、1万3千円分のプレミアム付商品券を1万円で、各世帯5セットまで準備

さらに市県民税非課税世帯への生活の支援とし、1セットを配付



#### 審議内容は?

市民にとっては物価高に対応した施策であり、市内事業者の活性化も併せて図られる事が期待されます。さらに支援を必要とする世帯へ確実に行き届くものとなり、事業者が換金される際にスムーズに支払われる仕組みとなるように求めました。

11/  
12~14

### 兵庫県神戸市北区・南あわじ市・姫路市・ 京都府福知山市へ行政視察

淡路島のタマネギ栽培は約110年の歴史があり、代表する特産品となっています。栽培は機械化が進んでいるものの、受け継がれてきた手作業の工程も残されています。

JAと行政で新規就農相談の窓口を一つにし、月に一度開催される相談会には、年間20~30人程度の方が相談に訪れるそうです。

また姫路市のウォーカブル推進計画は、駅前中心市街地の公共空間を利活用し、リノベーションまちづくりなど、市民も観光客も歩きたくなる環境づくりに努められています。公募した意見に基づき当初計画を大幅に変更して、歩く空間の広がる駅前ひろばを作るなど、市が市民・事業者と一緒に公共空間の使い方を考える体制を重視されていました。



淡路島のタマネギ園場



## 議会トピックス

10/6 産廃施設建設予定地視察  
高山市議会と意見交換

砺波市議会は、産廃処理施設建設計画のある高山市六厩地区の現地を視察し、その後高山市議会産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会の皆さんと意見交換を行いました。

高山市の担当者に案内されて訪れた予定地は、別荘地のすぐ際の山林で、参加者からは「こんな自然豊かなところに作るの」といった声が聞かれました。高山市庁舎で行われた意見交換会では、最初に高山市の担当者からこの計画についての詳しい説明がありました。その中では、「厳しい気象条件が処分場の安全な運営に適さない」「活断層が近接しており、シートの強度や施設構造の安全性へのリスクが高い」「庄川の水源地でありひとび事故が発生し有害物質が流出すれば大きな社会問題となる」などこの地が産廃処理施設の「適地ではない」ことが強調されました。特別委員会から「視察に来ていただいたことは大きな励みになる。計画を止めるために、できることは何でもやる」と述べられたのに対し、砺波市議会からは「岐阜県知事に議会として意見書を提出した経緯もある。情報を共有し、連携していきたい」と応じました。



岐阜県知事に議会として意見書を提出した経緯もある。情報を共有し、連携していきたい」と応じました。

## 第6回 議会報告会開催



砺波市議会では、議会基本条例に基づき市民の多様な意見や要望を議会活動に反映させると共に課題解決に向けた政策を考えていく機会とするため、毎回共通テーマを定め、意見交換を中心に議会報告会を開催しています。

各自治振興会のご協力のもと、10月から11月にかけて実施した今年度の議会報告会には、市内全21地区の会場に延べ396人のご参加をいただき、本市の空き家対策・移住定住施策についてのご意見を伺いました。

人口のボリュームゾーンといわれる「団塊の世代」全員が75歳以上となる、いわゆる「2025年問題」に突入し、今後益々空き家の増加が懸念されます。

いただいたご意見では、①管理不全空き家の増加による安全・景観の悪化 ②所有者の管理意識の希薄化 ③所有者不明・権利関係の複雑化などが提起され、管理の担い手がない空き家の増加や、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす実態が提起される一方、こうした課題への対処方法がよくわからないといった声が数多く寄せられました。議会では、こうした課題を真摯に受け止め、議員間討議のなかから対策を協議し政策立案に繋げたいと考えています。

ご参加いただいた皆さまありがとうございました。



## 傍聴してみませんか

令和8年3月定例会カレンダー(予定)



日	月	火	水	木	金	土
	2 10:00 本会議	3	4	5	6	7
8	9 10:00 本会議	10 10:00 本会議	11 10:00 文教民生病院 常任委員会	12 13:00 総務産業建設 常任委員会	13	14
15	16 14:00 本会議					

## 傍聴手順

- 会場出入口付近にある受付票に、住所・氏名等をご記入ください。
- 傍聴席へご入場ください。(傍聴は出入り自由です。)

写真やご意見・ご感想を  
募集しています。

申込はこちらから▶



## マチイロアプリ

スマホで「議会だより」(フルカラー版)が発行日の朝から読めるアプリのインストールはこちらから▶▶▶

